



山形美術館開館60周年記念

山形の美術

山形美術館60年のあゆみとコレクション

The Art of Yamataga from the collections of Yamagata Museum of Art



2024年12月13日(金)ー2025年1月26日(日)

- 開館時間=午前10時ー午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日=月曜日(1月13日開館、翌14日休館)、年末年始(12月28日ー1月3日)
- 料金=一般1,200円/高大生600円/小中生400円
- *20名以上の団体料金は各料金区分の2割引き *土曜日、日曜日午前中は中学生以下無料
- *障がい者手帳をご提示の方と付添者1名は各料金区分の半額
- *キャンパスメンバーズ登録校の学生は学生証提示で無料

- 主催=山形美術館、山形新聞、山形放送
- 共催=山形県、公益財団法人山形県生涯学習文化財団
- 後援=山形市

画像上: 与謝蕪村《奥の細道図屏風》1779年、重要文化財、@長谷川コレクション(2025年1月4日ー1月26日 1階第1展示室で特別公開)
画像左より: 高橋由一《鮭図》1878年頃、山形美術館寄託 / 真下慶治《最上川・葵》1967年 / 椿貞雄《牡丹花籠図》1925年

山形美術館

山形市大手町1-63 tel.023 622 3090

www.yamagata-art-museum.or.jp

山形の美術

The Art of Yamagata from the collections of Yamagata Museum of Art

山形美術館60年のあゆみとコレクション

山形美術館は、まだ地方に美術館が少なかった1964年にオープンし、2024年8月20日に開館60周年を迎えました。当館ではこれまで、企画展や3つの県展、館利用団体展などさまざまな分野の展覧会を開催し、市民が美術に親しむ場や、創作活動にはげむ人々が作品を発表する機会の提供を図ることで、本県の芸術文化振興に寄与してきました。

また日本および東洋美術、フランス近代美術の優品をはじめ、本県にゆかりの深い作家らの作品を収集し、現在では2100点を超えるコレクションを収蔵しています。

本展では60年の節目を記念し、開館から現在にいたるまで収蔵された絵画、彫刻、工芸などの多彩な作品とともに山形美術館のあゆみを概観します。また、60周年記念事業として市民から募集した「山形美術館との思い出」もあわせて紹介します。

過去の軌跡を振り返りながら、山形美術館のこれからの活動や、「山形の美術」について展望するひとつの機会となれば幸いです。



1964年開館時の山形美術博物館



クロード・モネ《サンジェルマンの森の中で》
1882年、吉野石膏コレクション



モイズ・キスリング《ジョゼット》1934年
服部コレクション



桜井浜江《樹》1965年頃



近岡善次郎《雪の済生館》1984年



小松均《最上川源流(源流)》1970年



加藤松溪《首夏》1942年



新海竹蔵《結髪》1936年

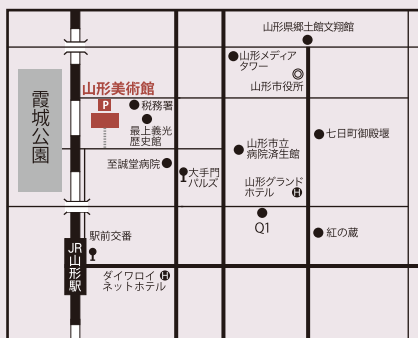
■展覧会関連イベント

- ①山形美術館×東北芸術工科大学総合美術コース「山美のキッズデー」
日時 12月14日(土)
ギャラリーツアー「こどもアートたんけんたい」10時30分-(約90分、10名)
ワークショップ「キッズアーティストになろう」13時30分-(約120分、20名)
・事前予約が必要です。各定員に達し次第募集を締め切ります
・中学生以下無料、付き添いの保護者は当日の入館料が必要です
・ギャラリーツアーは12月21日、1月11日、18日も開催します(要事前予約)

- ②担当学芸員によるギャラリートーク
日時 12月17、24日、1月7、21日 11時-(各火曜日、約30分)
・事前予約不要、当日の入館料が必要です

- ③現役作家が語る、山美の名品！
日時 12月13、20日 11時-
1月10日、17、24日 14時- (各金曜日、約30分)
・事前予約不要、当日の入館料が必要です

*②のイベントを行う日の10時-13時は、展示室内で自由に会話を楽しみながら鑑賞いただけます
*都合により内容を変更する場合があります。各詳細は山形美術館公式ホームページをご覧ください



■アクセス

- 徒歩 JR山形駅東口から徒歩15分
バス ベニちゃんバス「中心市街地」行き
霞城公園前下車徒歩4分
車 山形自動車道山形蔵王I.C.から約15分
*山形美術館北側に無料駐車場がございます
美術館前山形市大手町駐車場は有料です

山形美術館
山形市大手町1-63 tel.023 622 3090
www.yamagata-art-museum.or.jp